

平成30年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2234

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業																																	
B27	安全かつ快適な道路交通環境の整備		一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	交通安全施設整備費																																	
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	道路交通安全法 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律		宣言項目 分野施策	020411 交通安全対策の推進																																		
1 事業の概要			5 事業説明																																					
<p>安全かつ快適な道路交通環境を構築するため、次の点に着目した整備を集中的に実施する。</p> <p>(1) 国際大会の開催に伴い、安全・安心で魅力ある都市「埼玉」をアピールするため、先進的技術を導入した快適な道路交通環境の構築</p> <p>(2) 今後増加が見込まれる高齢者の交通事故の抑止対策を集中的に実施</p> <p>ア 交通管制センターの整備 271,178千円</p> <p>イ 交通信号機の高度化改良 255,325千円</p> <p>ウ 道路標識の整備 151,328千円</p> <p>エ 道路標示の整備 46,180千円</p> <p>オ 調査費 11,587千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 国際大会の開催に向けた快適な道路交通環境の構築 県内で実施される予定のラグビーW杯やオリンピック・パラリンピック等の国際大会の開催に伴い、訪日外国人を含む多くの来場者が予想される。これらの来場者に、道路交通環境の面からも、安全・安心で魅力ある都市「埼玉」を実感していただくため、大会開催施設周辺の老朽化した交通安全施設の更新・補修を集中的に推進するとともに、先進的技術を導入し、環境にやさしいエコドライブの実現及び歩行者にもやさしい道路交通環境を構築する。</p> <p>イ 高齢者等の交差点交通事故対策 過去5年間に発生した高齢者が関係する歩行者・自転車の人身事故の6割以上が交差点内で発生していることから、交差点での事故抑止対策として、信号機の歩車分離化やバリアフリー化を実施し、併せて信号灯器のLED化や横断歩道の補修をすることで、安全な交差点環境を構築する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>平成32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 交通管制施設の整備 (情報収集提供装置等)</td> <td>75基</td> <td>107基</td> <td>69基</td> </tr> <tr> <td>イ 信号機改良 (プログラム多段化等)</td> <td>47基</td> <td>46基</td> <td>46基</td> </tr> <tr> <td>ウ 信号灯器LED化 (車両用、歩行者用)</td> <td>95式</td> <td>82式</td> <td>74式</td> </tr> <tr> <td>エ 道路標識の更新 (路側標識)</td> <td>1,808本</td> <td>1,885本</td> <td>1,850本</td> </tr> <tr> <td>オ 道路標示の更新 (横断歩道)</td> <td>34km</td> <td>34km</td> <td>32km</td> </tr> <tr> <td>カ 歩車分離化</td> <td>72基</td> <td>59基</td> <td>57基</td> </tr> <tr> <td>キ バリアフリー化 (高齢者等感応化等)</td> <td>7基</td> <td>8基</td> <td>6基</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 主要幹線道路への信号情報活用運転支援システムの整備による安全運転支援、会場施設の最寄り駅周辺の交通信号機に歩行者感応機能を追加することによる会場周辺の歩行者の安全確保及び老朽施設の更新による交通安全施設の適正な維持管理の実現により、道路交通環境の面から、魅力ある埼玉県を国内外にアピールすることができる。</p> <p>イ 交差点における車両と歩行者を分離するなど交差点対策を集中的に実施し、来る超高齢化社会に向けて、より安全な道路交通環境を構築することができる。</p> <p>(4) その他</p>							平成30年度	平成31年度	平成32年度	ア 交通管制施設の整備 (情報収集提供装置等)	75基	107基	69基	イ 信号機改良 (プログラム多段化等)	47基	46基	46基	ウ 信号灯器LED化 (車両用、歩行者用)	95式	82式	74式	エ 道路標識の更新 (路側標識)	1,808本	1,885本	1,850本	オ 道路標示の更新 (横断歩道)	34km	34km	32km	カ 歩車分離化	72基	59基	57基	キ バリアフリー化 (高齢者等感応化等)	7基	8基	6基
	平成30年度	平成31年度	平成32年度																																					
ア 交通管制施設の整備 (情報収集提供装置等)	75基	107基	69基																																					
イ 信号機改良 (プログラム多段化等)	47基	46基	46基																																					
ウ 信号灯器LED化 (車両用、歩行者用)	95式	82式	74式																																					
エ 道路標識の更新 (路側標識)	1,808本	1,885本	1,850本																																					
オ 道路標示の更新 (横断歩道)	34km	34km	32km																																					
カ 歩車分離化	72基	59基	57基																																					
キ バリアフリー化 (高齢者等感応化等)	7基	8基	6基																																					
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10)、(県10/10)																																								
3 地方財政措置の状況 なし																																								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし																																								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比																																
予算額		国庫支出金	県 債																																					
決定額	735,598	266,809	282,000				186,789	△167,775																																
前年額	903,373	350,146	367,000				186,227																																	